

2024-2025年度国際ロータリーのテーマ



2024-2025年度国際ロータリー第2690地区のスローガン

未来への架け橋をつくらう

2024-2025年度岡山北ロータリークラブのスローガン

仲間との経験を増やそう

2024~2025年度 Rotary Club of Okayama North

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日 / 毎火曜日 12:30~13:30

理事・役員

2024.7~2025.6

| | | | | |
|------------|------|------|----|----|
| 会長(理事) | 高橋茂樹 | 橋本太郎 | 茂樹 | 樹行 |
| 副会長(理事) | 高橋牧 | 田本川 | 歳太 | 行郎 |
| 幹事(理事) | 牧堀安 | 原田波 | 洋孝 | 子則 |
| 副幹事 | 堀安吉 | 田波難 | 穂佳 | 人那 |
| 会計 | | | | |
| S.A.A.(理事) | | | | |
| 副S.A.A. | | | | |

| | |
|---------------|--------|
| 会員増強・退会防止(理事) | 中宮山賢太郎 |
| 広報(理事) | 宮井山宏 |
| 奉仕プロジェクト(理事) | 永馬雅幸 |
| ロータリー財団(理事) | 馬場保宏 |
| 親睦活動プログラム | 正廣野本 |
| 直前会長 | 高岸 |
| 次期会長 | 高島 |

モバイルサイトへのアクセスはQRコードをご利用ください。(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「一年を振り返って」
会長 高橋茂樹 会員
幹事 牧本太郎 会員

次回7月1日のプログラム

「旧ひな壇慰労夜間例会」

7月のお祝い行事

会員誕生日：高島、渡辺君
結婚記念日：牧本、松田、妹尾、正保、武南、滝沢君

前回6月17日の例会記録

出席の状況

会員数 53名 (出席免除者0名)
出席者数 33名
欠席者数 20名
出席率 62.26%



素顔の秋山様

スケジュール

7月 母子の健康月間

1日(火) 18:00~第1回理事役員会
19:00~例会：旧ひな壇慰労夜間例会
8日(火) 12:30~例会：就任挨拶①
15日(火) 12:30~例会：就任挨拶②
22日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)
29日(火) 12:30~例会

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

5日(火) 12:30~例会
第2回理事役員会
12日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)
19日(火) 12:30~例会
ガバナー補佐公式訪問クラブ協議会
26日(火) 12:30~例会

本日のメニュー：洋食

次回のメニュー：夜間例会特別メニュー

会長挨拶



本日は、岡山南RC株式会社大町の秋山様に卓話を頂きます。後程、宜しく願い致します。

2週間ぶりの例会です。6月3日に行われました次年度の合同委員会。参加された皆さんお疲れ様でした。次年度に向けていい準備が出来たのではと思っています。そして6日の金曜日には、カンボジア奉仕事業の同窓会的な懇親会を行いました。3回の事業に参加された方全員と、高島次年度会長、そしてカンボジアNGOの相引さんとシュミリアップガイドの山口さんが参加して情報交換そして懇親を深める事が出来ました。

そして8日日曜日には、本年度の最終事業である親睦家族旅行をたまの湯キャンプ場で行いました。私もパートナーと愛犬2匹と参加させて頂きました。正保委員長率いる親睦活動委員会の皆さん、そして牧本幹事には大変お世話になりました。一年間本当に頑張ってくれました。今回も距離感の近い楽しい会になりました。

6月の10日の連絡で、RIの次年度会長のマリオ・デ・カマルゴ（ブラジル）が辞任されました。理由は、個人的・ビジネス面の評判により辞任が必要であるとの事でした。そして14日に、新しい次年度会長がフランчесコ・アレツォ（イタリア）に決まったとの連絡がありました。

来週は、本年度最終例会です。牧本幹事と私が退任報告をさせて頂きます。そして残念ながら退会（卒業）される2名の会員より挨拶をいただきます。多くの会員の参加をお願い致します。

幹事報告

1. 6月8日（日）家族親睦旅行には皆様にご参加いただきありがとうございました。
2. 本日例会終了後、13：40より3F「トパーズの間」において「第3回被選理事役員会」が開催されますので、次年度理事・役員の皆様はよろしくお願ひいたします。
次年度スマイルチケットのご案内を配付しております。
3. ハイライトよねやま vol. 303、他クラブ週報を回覧いたします。



幹事報告

S. A. A.

高橋君：本日も宜しくお願いします。

牧本君：秋山様のご来訪、感謝いたします。卓話楽しみにしています。

伊藤君：秋山様卓話に感謝致します。

戸川君：秋山様、本日のご講話楽しみにしております。

馬場君：昨日猛暑の中、大阪関西万博に行ってきた。夕方以降涼しくなったので、これからの季節、遅めに行くのがおすすめです。夕日に照らされた大屋根リングはキレイでした。

高島君：秋山様、本日はどうぞよろしくお願い致します。

谷本君：秋山さん、ご多忙の中、卓話をありがとうございます。

廣野君：今年度「よきことをせむ卓話」のしめくりとして秋山様にご無理をお願いしました。よろしくお願い致します。

吉田君：秋山様、本日の卓話を大変楽しみにしておりました。昨年度の新天地育児院での新天地祭りでの「チンドン屋」姿での活躍ぶりには心から感動いたしました。次回の新天地祭りも楽しみにしております。次回、最終例会です。予算に対して若干きびし目。お手元のスマイルチケットご持参下さい！



出席報告



スマイル報告



ヴン君6月分の奨学金を授与



雑誌委員会

副委員長 戸川 茂宣 会員

「ロータリーの友6月号」の紹介

今年度最終号では、RI会長の「皆様こそが『ロータリーのマジック』です。皆さまが世界にもたらす持続可能な変化を目にすることができることを、楽しみにしています。」のメッセージを紹介いただきました。

卓話

「弱い子どもが元気になる日本一のまちづくり」

株式会社大町 代表取締役社長 秋山 秀行 様 (岡山南RC)



株式会社大町 代表取締役の秋山秀行氏をお迎えし、「弱い子どもが元気になる日本一のまちづくり」と題した卓話をしていただきました。

秋山氏は、例会場にチンドン屋の格好でご登場され、会場は一気に和やかな雰囲気になりました。卓話では、ご自身がどのような経緯で駄菓子メーカーの組織である「DAGASHIで世界を笑顔にする会」を立ち上げ、社会貢献活動を始められたのか、そして現在特に力を入れていらっしゃるファミリーホームの活動について、熱い情熱を込めて語っていただきました。

子どもたちの未来のために何ができるのか、地域全体でどのように支えていくべきか、秋山氏のこれまでの具体的な活動と、子どもたちへの深い愛情に裏打ちされたお話は、会員一同に深い感銘と行動へのエネルギーを与えてくれました。

「一般社団法人DAGASHIで世界を笑顔にする会」の会員を募集されているそうなので、是非ともご支援ください。(宮井 記)



チンドン屋スタイルで会場に現れた秋山様



講師紹介の
廣野プログラム委員長

講師プロフィール

秋山 秀行 氏 (あきやま ひでゆき)

1958年岡山県生まれ。同志社大学文学部を卒業後、株式会社大丸(現：株式会社大丸松坂屋百貨店)を経て、1985年に株式会社大町に入社。1999年に代表取締役社長に就任。

株式会社大町は、1952年創業の食品の企画・卸、および駄菓子(レトロなおもちゃも含む)の直売を手掛ける企業で、秋山氏は、菓子卸問屋としては3代目にあたります。

秋山氏は、「資本主義から『志本主義』へ」を提唱し、「日本一子どもにやさしい町づくり(弱い子どもたちを元気にする)」活動に注力されています。特に、「だがしおじさん」としてチンドン屋風の姿で子どもたちを喜ばせ、「日本一のだがし売場」の運営を通じて、ただ駄菓子を売るだけでなく、子どもたちの遊び場、学び場、思い出作りの場を提供しています。

また、「DAGASHIで世界を笑顔にする会」の会長も務め、「3月12日だがしの日」を全国・世界に発信し、駄菓子を通じて世界中の人々を笑顔にすることを目指しています。活動の一環として、「もったいない広場」から発展した「日本一のだがし売場」では、年間約12,000組の子どもたちが訪れ、時には一日店長体験イベントなども開催されています。

現在は、地域全体で人が繋がり、笑顔が循環する地域をつくることを目指す「元氣村構想」にも取り組んでおり、子どもたちの生きる力を育むための活動に尽力されています。



親睦家族旅行



2025年6月8日(日) / たまの湯キャンプ場

6月8日(日)に、親睦家族旅行として、「たまの湯キャンプ場」でデイキャンプを実施しました。数名の会員は前日の夜からキャンプ場入りし、親睦を深め、翌日のデイキャンプをさらに充実させる、素晴らしいスタートとなりました。

当日は薄曇りながらも、海が見えるグランピングサイトで、子どもたちや愛犬も一緒に楽しい時間を過ごしました。メインイベントのバーベキューでは、美味しいお肉や野菜を堪能。飯盒炊爨でのカレー作りにも挑戦し、みんなで協力しながらカレーを完成させました。特に印象的だったのは、竹を切り出して竹筒でご飯を炊こうとした試みです。残念ながらうまく炊けませんでしたでしたが、皆で力を合わせる貴重な体験となりました。

また、1kgちょうどの砂の重さを測るゲームでは、子どもから大人まで大いに盛り上がり、歓声が響き渡りました。

美味しい食事と楽しいアクティビティでゆったりとした時間を過ごした後は、たまの湯の温泉に浸かり、日ごろの疲れを癒やしました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。(宮井 記)



会長挨拶



会の説明をする正保委員長



砂の重さ当て大会を楽しむ子どもたち



炊飯用の竹を切る馬場会員



うまく炊けませんでした



カレーつぎおじさん



数名、前日入りしてテントでの宿泊を楽しみました



←こちらからダウンロードできます